



千日紅

花言葉は
「安全」

第9号

平成30年10月12日

発行：入谷小学校

文責：主幹教諭 小野寺孝夫



署員の方にお礼の握手



僕たちの ヒーロー登場 消防署員の方との学習



包帯法(直接圧迫法)の実演(5・6年)



校外の防災設備の学習(2年)

4つの教室に分かれて学習活動が行われました。教室毎に様々な防災設備や救急のための道具、プレゼンテーションのスライド等を準備していただきました。(スライドを作成した)署員の方に「準備大変だったでしょう?」と尋ねたところ「いや、楽しかったです。」と即答していただきました。子供たちのことを真剣に考えていただき頭がさがります。

昨日(11日), 入谷小学校では南三陸消防署の副署長さんをはじめ署員の方10名を迎えて「入谷っ子少年消防クラブ」の防災教室を行いました。この日は消防署員の方が講師になり校内外の防災設備や消防署の仕事、救急法など学年部毎のテーマで防災に関する知識や技術の紹介をしていただきました。1年生は署員の方のお話で、今までギモン?に思っていたことが解決し羨望の眼差しを向けていました。いろいろなことが分かりヒーロー(署員)に握手を求めていた1年生でした。



消防署の仕事の学習(3・4年)



校舎内の防災設備見学(1年)

原子力災害を想定して

10月11日(木)2校時後に原子力災害を想定しての避難訓練を行いました。南三陸町の戸倉地区は女川原子力発電所のUPZ(30km)圏内にあります。町内の地区が圏内に含まれているため昨年度から入谷小学校でも原子力災害想定の避難訓練を行っています。

見えないことが恐ろしい



伊藤副署長さん

避難訓練後に南三陸消防署の伊藤副署長さんから避難の仕方の指導や原子力災害についての「放射線は見えるものではありません。見えないことは本当にこわいものです。自分の身を守る方法を身につけましょう。」というお話をいただきました。

命を守るために

今回の訓練と防災学習には、CS推進委員の菅原文雄さん、山内利也さん、防災教育推進委員の佐藤富俊さん、小野寺久幸さんにお越しいただきました。訓練後の振り返りの時間で、訓練は自分たちの「命を守る」ために行うことをお話ししていただきました。



菅原文雄さん

速やかに、整然と



児童は『屋内退避』の放送後、速やかに教室へ向かい手洗いとうがいをして自分の席に座り人員確認を行いました。カーテンや換気扇を止めて静かに担任の指示を待っている姿勢は整然としていて訓練に対する真剣さが伝わりました。



教室に入る前に手洗いとうがいをしています。児童は業前(朝)の時間に放射線は洗い流せることを学習して知っています。

光の性質に似ています

10月11日(木)安全タイム(業前の時間)で『放射線について知ろう』というお話をしました。右の写真は「放射線は光の性質に似ています。」ということを説明しているところです。放射線は原子力災害だけで発生するものではないことや今生活している自然界の自然放射線や医療で使用される人工放射線があることを学習しました。放射線をあびる量によって体に影響することを知りました。



毎月、2回実施予定です

交通少年団の活動として、毎月1日と15日(休日の時は翌登校日)に集団登校を行っています。各地区で班を決めて登校しています。5月から始まり今月15日で8回目となります。最近、朝が寒くなっています。朝起きがつらくなっています。次回は来週月曜日ですので、ご家庭でも集合時間に間に合うようお声掛けください。

情報を発信しています

右の図は入谷小学校のホームページにつながるQRコードです。入谷小学校では『学校からのお知らせ』や『月の行事予定』などの情報を発信しています。右の図を読み取りHPにアクセスして確認ができますのでご利用ください。

